

日野・生活者ネットワークニュース

No.159

2020年7月15日発行

発行/日野・生活者ネットワーク 発行責任者/出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平 2-3-12 中央日石ビル 4F
URL <http://hino.seikatsusha.me/>



日野市が財政非常事態宣言！ 市のお財布について考えてみよう！

日野市は3月に財政非常事態宣言をしました。財政状況があぶないといういわば黄色信号です。その後のコロナ禍でこれからますます厳しい状況が予測されます。日野市は大丈夫なの？と不安に感じている方も多いのではないのでしょうか。まずは、日野市の「いま」を把握し、一緒に考えてみたいと思います。

財政非常事態宣言 って？

過去に2度、バブル崩壊時とリーマンショック時に宣言していますが、3度目となる今回は、そういった外からの影響とは違います。ここ数年の市民税収入の落ち込みに加え、社会保障費の増加や老朽化する公共施設の維持管理等といった支出が増え続けているのも要因のひとつです。

これまでも行政評価から、公立保育園の廃止や学童クラブの民営化などが進められてきており、市民の憩いの保養施設であった「ハケ岳高原大成荘」も今年度で廃止となります。

昨年の6月、令和2年～4年の3年間で約100億円が足りないという見通しが示されました。まずは、現在進行中の事業の中から、総額約30億円以上



建設途中の3.4.24号線は？

上の事業を検討し、旭が丘、西平山地域に建設予定の3.4.24号線道路が一時的休止となりました。

コロナ対策は 大丈夫なの？

基本的に国や都からの補助金等で賄うため、日野市の財政に大きく影響はありませんが、むしろ、税収入がさらに落ち込む来年度以降の資金繰りが心配です。

しかし、大坪市長は5月の臨時会に先立ち、財政的に厳しいということとを理由にはせず、市民の命と暮らしを守っていく決意を述べました。本当に困った方々への支援に力を注いでいくものと受け止めています。

これからどうなるの？

来年度以降はコロナ禍の影響で大幅に市民税等の収入が減少することが予測され、さらに第2波3波の懸念もあります。

日野市は、約800もある事業のひとつひとつに、見直しをかける必要があります。まずは、各担当部署が分析、調査を行い、市民評価も加え、今後の財政再建計画に盛り込んでいく作業に入っていくようです。今後更なる事業の廃止や延期、抜本的な

女性の安全安心調査で 日野市が1位に！

東京・生活者ネットワークは都内49自治体を対象とした「女性の安全安心調査」の結果発表を行いました。(6月11日)



調査チームのメンバー 後列左端が白井なおこ

これはセクハラ、DV、性暴力に関する取り組みについて自治体をランキング化したものです。

最高の日野市で54点、平均で33.92点という全体的に低い点数に、これらの施策がまだまだ不十分であることが浮き彫りになりました。

この調査を単なるランキング化に終わらせず、女性への暴力根絶、ひいてはジェンダー平等社会の実現を目指し、有効に活用していきたいと思えます。

6月議会では早速白井なおこが一般質問しました。

今年性は暴力の刑法改正の見直しの年です。まだまだ山積みの課題について、被害者の立場に立った見直しを求めてまいります。

調査の結果はこちらから▶



カワセミハウスの電気が再エネ100%に！ ～白井なおこが昨年12月議会で要望～

環境情報センターカワセミハウスで使用する電気が、6月より再生可能エネルギー100%の電気に切り替わりました。

気候危機を足元から食い止めるためにも、公共施設で使う電気を再エネ100%に切り替えていくことを求めています。今後も段階的に拡大していくよう取り組んでまいります。

ご家庭でも再エネ電気に契約を切り替えていきましょう！

